

# 2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
03010101

## 1. 計画名称

茅野市環境基本計画

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	人と自然が調和する環境づくりを目指す中で、各種施策は一定の成果を挙げている。地球規模で急激に変化する環境問題を勘案する中で、市民団体等との連携を図りながら身の丈に合った施策の普及啓発活動を推進する。
今後の重点化施策番号	1	説明	自然の恵みをたいせつに受け継いでいくためには、それぞれの施策の次世代の担い手確保が大きな課題である。関連部署等との連携を視野に入れて、課題解決に向けた取組手法を検討していく。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自然の恵みを大切に受け継ぐまち ー良好な自然環境の確保ー	順調	施策の柱1～2の指標は自然の恵みを大切に受け継いでいくためのそれぞれの施策の担い手となりうる市民の数だと考えており、関係機関との連携を密にしたことで概ね目標を達成できた。	人口減に向かう社会において、さまざまな分野において市民団体の中核世代が高齢化している。次世代の育成、引継が大きな課題である。	市民団体と担い手確保に向けた取組手法を検討し、新たな担い手を確保する。
2	安全で人にやさしいまち ー安全な生活環境の確保ー	順調	公害苦情処理の内、軽微なものについては即時解決させ、長引きそうなものについては次年度に持ち越さぬよう、年度内解決を目標に取り組んでいる。水質検査におけるBODは、環境基準達成率100%である。	空き家や空き地など、所有者が不在の土地を発生源とする苦情の増加が課題となっている。(管理不行き届きによる雑草の繁茂、害虫の発生など)	空き家や空き地を発生源とする苦情は、早期に所有者を調査し、改善の指導を行う。
3	うるおいとやすらぎのある快適なまち ー快適環境の確保ー	-	計画の性質上、具体的な目標指標は設定せず		
4	環境への負荷が少ないまち ー循環型社会の構築ー	おおむね順調	可燃物・資源物を減量化し、適切に処理するための住民への周知や、市民活動付団体と連携した取り組みを行うことなどを継続して行っている。また、環境館での普及啓発も3Rの推進のための重要な取り組みである。	排出されるごみの量は減少傾向にあり、リサイクル率も上昇している。しかし、市民の環境に対する意識を向上させる取り組みは、継続して行うことが必要である。	ごみの出し方や資源物の分別について、様々な手段や方法を用いて市民にPRすることが必要である。美サイクル茅野と協働して、ごみ減量に取り組み雑紙回収袋を作成・配布する等の市民への啓発活動を行う。
5	地球環境にやさしいまち ー低炭素型まちづくりー【茅野市減CO <sub>2</sub> 計画】	おおむね順調	地域に向けた省エネ・温暖化対策について、市民団体との積極的な連携により、気候や社会の動向に合わせた効果的な環境イベントを検討し、昨年度と比較して環境イベントの開催回数を増やし、地域における啓発活動を拡充することができた。	公共施設における環境活動については、定期的なエネルギー使用量の把握を実施による総排出量のデータ集約には時間を要するが、各部署との連携を密にし、現状把握を基にした啓発・対策を展開できるようにする必要がある。	・地域事業者への環境マネジメント補助金の効果的なPRを実施 ・市民団体との連携強化によりイベント等の定期的な開催・内容の充実 ・公共施設所管部署との連携を密にし、エネルギー使用量の速やかな現状把握及び啓発

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	環境審議会	①次世代の担い手確保に向けて、公民館や博物館講座などと連携して修了者を受け入れる仕組みづくりを提案する。 ②低炭素型まちづくりについて、国県の目標に準じるだけでなくそれらを踏まえて市独自のカラーを組み入れてもらいたい。 ③協働で環境づくりに取り組むために、市民活動団体による情報交換会を新たに開催してもらいたい。	①ご意見を今後の取組の参考にさせていただきます。 ②計画見直しの際に、検討させていただきます。 ③ご意見を今後の取組の参考にさせていただきます。
開催回数	1		
参加延べ人数	13		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

## 5. 添付資料

別紙「施策評価シート」

3.各施策等における評価内容と改革改善(5つ目以降)

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
6	協働で環境づくりに取り組むまち ー連携・参加と環境学習ー	おおむね順調	各種市民団体との連携・協働による取組の推進により、環境美化活動を例年どおりに維持することができている。また、環境情報発信を増やしたことが各種行事の参加者等に繋がっている。	各種市民団体の役員の担い手確保及び情報発信の効果的な手段	市民・事業者・滞在者・市の各主体が参加し、協働で環境保全に取り組むために、活動への協力呼びかけを継続していく。
7					
8					
9					
10					